

科目名	看護解剖生理学Ⅱ 血液・循環器系・呼吸器系（物質を運搬するしくみ）					DP4 DP6	看護高等課程
学年	1年	分野	専門基礎 人体のしくみと働き	時間数	27時間	担当 教員	専任教員
科目 概要	人体の解剖生理学の知識は、看護の重要な役割である日常生活行動の援助の土台となる。また、ほとんどの日常生活行動は、複数の器官が関与して行われる複雑な機能であり、生活行動の観点から学ぶ。ここでは、血液・循環器系・呼吸器系の解剖生理から物質を運搬するしくみを学ぶ。						
到達 目標	1. 物質を運搬するしくみを理解することができる。 2. 体に血液を送るしくみを理解することができる。 3. 呼吸の機能を担う諸器官のしくみと、ガス交換のはたらきについて学び、理解することができる。						
回数	単元項目	授業内容				形態	担当教員
1～3	血液の機能と成分	血液とは、血液の働き、血液の成分				講義	専任教員
	血液のその機能	赤血球、白血球、血小板と血液凝固および血栓の線溶					
	血液型と輸血	ABO式血液型、Rh式血液型、輸血に際しての交差適合試験、不規則抗体					
4～10	心臓	心臓の構造、心臓の機能、心電図の基礎				講義	専任教員
	血管と循環	血管の形態、主要な動脈、主要な静脈と門脈系、胎児循環、血管の機能					
	リンパ系	リンパ管、リンパ、リンパ節、胸管、リンパ性器官					
11～13	呼吸器系の構造と機能	呼吸系に属する器官、呼吸の生理(呼吸運動とその調節・ガス交換・酸素と二酸化炭素の運搬)				講義	専任教員
14	試験	(1時間)				試験	
評価 基準	100点満点とし、6割以上を合格とする。また、授業時間数の3分の2以上の出席が必要となる。						
評価 方法	出席状況と講義への参加態度、筆記試験などで総合的に評価する。						
教科書	新看護学1 専門基礎 [1] 人体のしくみとはたらき 必要時、資料等は配布する。						
履修上の 注意点							